

ヘリコクター・ピロリ菌とがん

今回は副院長でヘリコクター・ピロリ感染症
認定医の宮池次郎医師に「ヘリコクター・
ピロリ菌」について伺いました。



▲宮池 次郎 医師

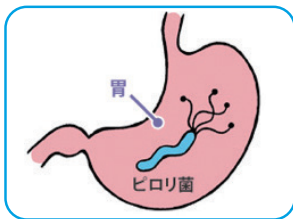
の共有、以前に行なわれ
ていた人糞肥料の使用な
どが原因と考えられてい
ます。
衛生状態のよくなっ
た現代では、若い世代の
感染率は減ってきている
ものの、全世界の半分の
人、日本人の約3分の1
が感染していると推定さ
れています。感染が長期
間にわたって持続する
と、胃の粘膜がうすくや
せてしまう「萎縮」が進
行し、胃がんを引き起こ
しやすい状態をつくりだ
します。1994年に
WHO（世界保健機関）
は、ピロリ菌を「確実な

ピロリ菌とは、胃に感
染する細菌で、慢性胃炎
胃潰瘍、十二指腸潰瘍
胃がんなどの原因と考え
られています。

また、鉄欠乏性貧血や
慢性蕁麻疹や、それ以外
の疾患にも関係している
可能性が指摘されていま
す。免疫の発達が不十分
な幼少期に口から感染し
て、胃に持続感染すると
考えられています。井戸
水の使用、食べ物飲み物
は、ピロリ菌を「確実な

発がん因子」と認定しま
した。これは、タバコや
アスベストと同じ分類に
入ります。

また、ピロリ菌を除
菌することで、胃がんの
発生を減らせることもわ
かっています。除菌治療
（抗生物質2種類＋胃



酸抑制薬を1週間内服）
にて9割以上の確率で除
菌できます。ただし、除
菌に成功しても、胃がん
のリスクは残りますか
ら、定期的な胃の検査は
必要です。胃が気になる
方は受診して相談される
ことをお勧めします。



社会福祉法人

恩賜財団

済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

☎0898-47-2500

